

GUIDELINES FOR SWEDISH YOUTH CENTRES

スウェーデンのユースクリニックのためのガイドライン
スウェーデンユースクリニック協会 (FSUM)



THE SWEDISH SOCIETY  FOR YOUTH CENTRES

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

THE PURPOSE ... of guidelines

ガイドラインの目的

このガイドラインは、一般的なユースクリニックの活動の概要を簡単に紹介しています。ガイドラインの末尾には、個々のユースクリニックが自分たちの活動について書き込めるフォーマットをつけています。

日本語訳者注：

本冊子で Ungdomsmottagningen は Youth Centres と英訳されていますが、日本で一般的にユースセンターと言われるような若者の居場所とは異なり、ケアを受けられるという意味で、ユースクリニックの方がより実状に即した適切な表現と考えられ、また論文等で本機関を Youth Clinics と表記する例も存在します。そのため、FSUM への許可を取った上で、Ungdomsmottagningen/Youth Centres の日本語訳として「ユースクリニック」と表記しています。

この冊子は、FSUM による許可のもと、日本財団の助成により、NPO 法人ピルコンが日本語訳したものです。英語版と日本語版の間に矛盾がある場合、オリジナルの英語版を正文とします。



FSUM - Föreningen för Sveriges ungdomsmottagningar
(スウェーデンユースクリニック協会)

www.fsum.org

ワーキンググループ Eva Wendt および Timmy Leijen

デザインおよびイラストレーション Eva-Marie Wadman

翻訳 イェンス・ヒャルテ

初版第 1 刷 Åtta.45 Tryckeri AB 2016.

OBJECTIVES

... and target group for Swedish youth centres

スウェーデンのユースクリニックの目的と対象

スウェーデンのユースクリニックの目的は主に、若者の性と生殖に関する健康と権利に焦点を当て、身体的・精神的なウェルビーイングを促進することにあります。そしてその達成には、医学、心理学、および心理社会学の包括的な観点が必要です。

ひとりひとり、すべての人には、知識、情報、サポート、治療を受ける権利があります。対象は12歳から25歳までの若者です。

PRINCIPLES

... behind the work of the youth centres

ユースクリニックの活動理念

人権

スウェーデンのユースクリニックにおけるすべての活動は、国際連合（UN）およびヨーロッパ人権条約（ECHR）が表明する人権を尊重します。

若者の権利とニーズ

人権のひとつに「健康への権利」があります。健康への権利には、性と生殖に関する健康と権利（SRHR）が含まれ、すなわち、自分のからだとセクシュアリティについての権利も含まれます。若者は自分で自分の人生に影響を与え、自分で選択する権利を持っていますが、同時に自分の健康や生活状況に関わる事柄にサポートを受ける権利も持っています。

ユースクリニックは、若者の権利とニーズを満たすという重要な任務を担っています。したがって、ユースクリニックのひとに対する姿勢と仕事の在り方は、人権によって特徴づけられ、かつ、人権を基礎とするものでなければなりません。

子どもの権利

国連子どもの権利条約は、スウェーデンのユースクリニックにとって非常に重要なものです。

この条約は、子どもたち、すなわち18歳未満の人々は、自分自身の権利と人間としての尊厳を持つ個人であることを宣言しています。また、支援と保護を受ける権利もあり、それが必要な存在でもあります。したがって、ユースクリニックの活動は、常に若者のニーズや関心、心配事に基づきます。

規範に対して批判的なアプローチ

ユースクリニックは、性別、性自認や性表現、民族性、宗教や信仰、性的指向、年齢を問わず、すべての若者を歓迎します。ユースクリニックが常に規範を批判する視点を持つことで、来訪者ひとりひとりが、自分の存在が受け止められ、認識されていると感じられる場所として機能することができます。



若者を歓迎する視点

適切な評価と治療を行う上で、若者がどのように助けを求め、どのようにそれを享受しているかについての知識は重要です。そして、適切な評価と治療のためには安全で安定した人間関係が不可欠です。若者が助けを求めるのに十分な安全を感じられるようにするには、プロフェッショナルな応対についての認識を持ち、それを常に発展させることが重要です。

ユースクリニックは、個人でもグループでも訪れてよい場所で、学校など他の社会的な場所へのアウトリーチを行います。ユースクリニックを1、2回しか来ない人もいれば、長期間にわたって繰り返し予約を必要とする人もいます。

低い敷居、高いアクセス性

スウェーデンのユースクリニックは、敷居の低い場所です。敷居を低くするという事は、若者が当然享受できるべき支援を簡単に受けられるようにするという事です。若者が自らの意志で助けを求めることが重要であり、センターは紹介を受け付けないということでもありません。ユースクリニックには、1、2回しか来ない人もいれば、長期間にわたって繰り返し予約を必要とする人もいます。また、必要であれば、若者がセンターの外で適切な助けを見つけられるようにすることも、ユースクリニックの仕事の一部です。

ユースクリニックを訪れる利用者が、自分をちゃんと見てもらえて、親しみやすいフレンドリーな応対を受けたと感じられることが重要です。その高いアクセス性は、アクセスしやすい独立した場、若者中心の在り方、規範に対して批判的なアプローチによって実現することができます。センターへの連絡は、オンライン、電話、またはセンターへの訪問によって可能です。予約は、最初に連絡があった時点で行います。予約なしで対応できる時間帯や緊急予約があり、すぐに支援を受けることも可能です。そしてユースクリニックへの来訪は常に無料です。

健康生成論の視点

健康生成論とは、健康やウェルビーイングに繋がる要因に焦点を当てる視点のことです。健康を促進するための戦略においては、若者のニーズや問題に、尊重と理解を持って取り組むことが必要です。

ユースクリニックを訪れる利用者が、自分をちゃんと見てもらえて、親しみやすい応対を受けたと感じられることが重要です。

若者の置かれる状況や発達、成長について、詳しい知識を持つことも重要です。ユースクリニックの職員は、さまざまなニーズや問題を抱えた人々と出会いますが、診断や疾病を中心とした向き合い方とは対照的な、健康生成論の視点を常に持ちます。全ての職員は、健康生成論に基づき仕事を行うことが求められるのです。これは、このような考え方や仕事の仕方が、若者を良好かつ持続的に支援するのに役立つことを示す経験的証拠に基づくものです。

他職種横断的な専門家によるサポート

ユースクリニックの職員は、医療、心理、福祉などの資格を持ち、専門家による他職種横断的な働き方で緊密に連携しています。このような連携は、若者のニーズを理解し、それに応えるために非常に重要です。そしてこのような働き方は、さまざまなニーズを持つ若い個人に包括的に向き合うことができるため、効果的です。

ワーキング・グループは、助産師、カウンセラー、心理士（師）、医師で構成されます。ユースクリニックは避妊の処方やカウンセリングを行うことができ、医療的責任を持つ医師がいなければならないため、これらの専門職が必要です。職員には、組織に貢献する他の職業を含めることも可能です。

心理社会的および医学的技量を持つ職員への資源配分は、利用者のニーズが常に満たされるよう、バランスの取れたものであるべきです。ユースクリニックでは、専門職の基本的なスキルに加え、男性学、婦人科学、心理療法、性科学などの訓練を受けた人材を確保する必要が



あります。同時に、仕事の上では、職員が若者中心の視点を用いることができ、思春期、ジェンダー、性自認、性表現、セクシュアリティ、性的アイデンティティに関する生物学的、心理学的、社会学的側面について特段の技量を有していることも求められます。

資源水準

うまく機能しているユースクリニックは、10代・若者3500人あたりに対して、常勤の助産師、常勤のカウンセラーまたは心理士、毎週10時間対応できる医師を少なくとも1人ずつ配置していることが分かっています。これは最低ラインと考えるべきでしょう。本籍地が別の地域である若者が多い自治体では、他の算定基準を用いて対応できるようにする必要があります。

運営組織

ユースクリニックは、異なる管理組織を持つことができます。複数の組織が1つのユースクリニックに対して責任を持つ場合、その責任分担は書面による合意で定めるものとし、その際、資金と資源のレベルも定義します。運営組織は、ユースクリニックの全体的な任務を明確に説明し、目的を定め、ユースクリニックの活動のための条件を満たさなければなりません。そして全ての職員が任務を知る必要があります。ユースクリニックの活動には、その任務と目標に関連した活動を含め、個別の予算で財政的条件を定義することが必要です。予算には、職員のさらなるトレーニングとガイダンスの必要性も考慮しなければなりません。

職員は、組織の運営に関係なく、常に自分の仕事をすることが必要です。そして各ユースクリニックには、任命されたマネージャーと、医学的助言を行う医師を置くものとしします。

OUR YOUTH CENTRE

ユースクリニックの名前と設立年

住所： _____

運営組織： _____

対象グループ： _____

年齢： _____

職員： _____

利用された数(年間)： _____

利用者の数(年間)： _____

対象グループに該当する利用者の数の合計(年間)： _____

職種ごとの利用された数(年間)： _____

来訪の理由： _____
ユースクリニックの健康記録システムに記録されている訪問の理由

現在のアウトリーチ活動： _____

その他、ユースクリニック特有の業務分野： _____

その他備考： _____



GUIDELINES
FOR SWEDISH
YOUTH
CENTRES



THE SWEDISH SOCIETY  FOR YOUTH CENTRES